

9月例会 報告

わんぱく災害対応キャンプ

もしもの時にあなたは地域を守れますか？



去る9月22・23日の二日間、9月例会わんぱく災害対応キャンプが行われました。このキャンプでは自然災害などによる万が一の被災に備え、生き抜くために冷静に対応出来るよう学習と経験を積んでいただきました。子供達だけではなく多くのメンバーも貴重な体験が出来たのではないかと思います。

一日目、山形県防災学習館での研修では地震体験や火災時の煙体験、消火器による消火訓練と人工呼吸、心臓マッサージ、AEDといった救急蘇生法を学びました。短い時間ではありましたが、救急蘇生法の指針が改訂されていたりと新たな発見もあり、とても有意義なものであったと思います。休暇村羽黒でのキャンプでは、生憎の雨模様でキャンプファイヤーの中止など、予定通りに進みませんでした。災害時における状況判断などの良い勉強になったと思います。

二日目は岸本くるみさんの被災体験を聞かせて頂きました。岸本さんは実際に阪神淡路大震災で被災しており、とても説得力のある貴重なお話でした。映像や自作のマンガなどを使い、誰にでも分かりやすく丁寧な講演で、子供達も真剣に聞いていました。この度の例会では普段接する機会の少ない小学生達と行動を共にすることで、たくさんの発見があったと思います。この経験を生かし、突然起きるかもしれない被災時には地域のリーダーとして力を発揮して頂きたいと思います。

最後に、二日間という長い例会ではありましたが、大きな事故等もなく無事に終了しましたことを、参加・御協力頂いたメンバーにこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。
青少年委員会 委員長 青柳康一郎



2日間に渡っての
災害学習の様子



講師の岸本くるみさん



空き缶を使った夕ごはん



スリル満点のきもだめし





ご 報 告

事務局長 板垣 一 紀

第79回定時総会のご報告

去る9月20日に出羽庄内国際村大ホールにて第79回定時総会が開催されました。次年度の役員と今年度の補正予算が審議されました。次年度の役員が決まった事で、次年度の活動がスタートします。今年度と次年度



の活動が重なる多忙な時期となりますが、より良い事業を行って行く為に全員で協力して参りましょう。

次年度へ向けて活発な意見が出されました。



庄内中央JC25周年記念式典のご報告

去る8月26日に庄内町にて(社)庄内中央青年会議所の25周年記念式典、懇親会が開催されました。同じ庄内で街づくりを行う同志として熱く意見を交わす事が出来て充実した1日となりました。



大会式典の様子

会員会議所会議 in 酒田のご報告

去る9月8日に酒田市に有る東北公益文科大学にて(社)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会会員会議所会議が行われました。その中で、2009年度に行われますブロック会員大会の主



09年度会員大会主管 LOMに決定した鶴岡JCのメンバー



管 LOM について協議、審議が行われ晴れて鶴岡に決定致しました。これを受けて、今から準備が始まります。一致団結して2009年度の山形ブロック会員大会を成功させましょう！



9月特別事業 未来への提言PART2

公益法人化準備会議 議長 齋藤 正 至

7月に引き続き「未来への提言」というテーマで、青年会議所活動および(社)鶴岡青年会議所の在り方を考える形の特別事業を開催させていただきました。会員数の減少、在籍年数の浅いメンバーの比率増加など活動を進めていく上で少なからず影響を及ぼしていく問題を抱えた今、青年会議所活動の意義をLOM全体で再認識する必要があります。

「明るい豊かな社会を築き上げる」という青年会議所の理想の下、地域に必要なとされるまちづくり(公益活動)に真摯に取り組むことは、LOMの存在価値を上げ、そこで活動するメンバーの意識も向上し、ひいては個人の資質向上にもつながるといった社会の相乗効果を生みます。そのような地域に認められるまちづくり活動を展開していくためには、(社)鶴岡青年会議所の明確な方向性を示していくことが必要になるかと思えます。今回会議体で考えたLOM行動指針を今後の活動の参考にしていただければと思います。



会員会議所会議 in 鶴岡のご案内

来る10月13日に鶴岡地域職業訓練センターにて山形ブロック協議会会員会議所会議が開催されます。また、同日に山形ブロック協議会アニュアルレポートミーティング、アカデミー閉校式が開催されます。おもてなしの心で県内17LOMの仲間を御迎えしましょう！

● 理事会より10月の予定 ●

- 10月11日(木) 第10回理事会
- 10月13日(土) 山形ブロック協議会会員会議所会議(鶴岡)
- 10月18日(木) 10月例会 公開例会
- 10月23日(火) 第2回 08年度理事予定者会議
- 11月1日(木) 第11回常任理事会



2007年度 東北青年フォーラム

in 湯沢 に参加して

地域創造委員会 委員長 辻村 利 則

去る9月1日、2日に秋田県湯沢市で「見つけよう！注ごう！OMO I YAR Iの心」～美しさ溢れる東北を築くために～の大会スローガンで開催された東北青年フォーラムに昨年に続いて参加してきました。東北地区協議会財政特別委員会の新会計基準に関する分科会の講義を聞いてくるのが最大の目的でしたが、昨年度の十和田の印象が良かったこともあり、大会全体を楽しみにしておりました。当日は理事長を乗せて運転をする大役に緊張しながらも、秋田わか杉国体に向けて整備された国道13号や横手湯沢道路を通り、昼食には本場の稲庭うどんを賞味しながら大会式典に向かいました。湯沢は小野小町生誕の地ということもあり、大会のいろんな場面に小町が登場してきます。このようにその地域地域の特色や特産、偉人などその地域が大切にしているものに触れることが出来るのも東北青年フォーラムの特徴でしょう。大懇親会やメインフォーラム、宿泊地である横手でのLOMナイト、この紙面では紹介出来ませんがどれも良い思い出です。来年は天童で開催されます。是非一緒に参加して視野と見聞を広げましょう。



10月 一般公開例会ご案内

回マンある未来の扉を切り開け!

～地域活性のための新技術(マイクロバブル)講演会～

来る10月18日(木)出羽庄内国際村にて広報委員会10月例会事業”マイクロバブル講演会”が開催されます。この事業は(社)鶴岡法人会青年部会様との共催事業として、鶴岡工業高等専門学校様のご協力のもと一般公開にて行なわれます。

昨今都市部と地方の格差という問題をよく耳に致しますが、今だ地方においては全国的に景気回復の実感が湧かない現状だと思えます。このような中、地場産業を再生、活性化させ、その結果地域貢献に結びつくまで至っているひとつの新技術がございます。

この事業ではこの新技術、いわゆる”マイクロバブル技術”を題材にその世界的権威である大成氏をお招きし、事例と豊富な資料とともに解かりやすくご講演いただきます。

これを通して、混迷した地方と企業を変える発想のヒントを少しでも汲み取っていただければ幸いです。

広報委員会 委員長 小池信治

ご案内

開催日時 10月18日(木)
 JC開会セレモニー PM.6:20～(メンバーのみ)
 開場 PM.6:30～
 講演 PM.7:00～
 開催場所 出羽庄内国際村大ホール 入場料 無料

「全国大会in帯広」へ行ってきました!

青少年委員会 梅屋 宏

第56回全国会員大会帯広大会が9月27日～30日の4日間に渡り『でっかい大地で、未来を拓け!!』と題して行われ、今年度卒業生として参加してきました。

都合上、後半の2日間しか参加出来ませんでしたが、タイトルどおりの広大な台地に感動し、懇親会の設営に歓喜し、興奮してきました。

29日の大懇親会で地元北海道の味覚を堪能すると共に、北海道民でなければ忘れがちな北方領土問題にも触れることができ、30日に行われた大会式典には、この為に設置された大型ドームに全国のJCメンバーが集い、約12000人でのJCソングをはじめて熱唱してきました。



愛国駅にて

今回のような機会がなければ訪れることも無かったであろう帯広の地は、私にとって忘れられない思い出の地となりました。

最後に、ホテルで川の字の真中になって寝た夜の佐々木理事長、板垣事務局長のイビキは格別でした。

釣道

～鶴岡の釣り文化～

【拾ノ章 :ときめき】

さあ、いよいよ本番である。

仕事と家庭の合間に空を眺めてはソワソワし天気予報から目が離せない毎日が始まった。私に限らず庄内釣士は仕事が順調で多忙なほど釣行回数が増し、釣果も良くなる。逆に仕事が薄く釣行の時間がたっぷりあってもなかなか釣りに行こうとは思えず、仮に行ったとしても雑念が邪魔をしてせっかくの貴重なアタリを察知できず大物を逃してしまったりする。近年めっぽう少なくなった夜のお勤めで母ちゃんの機嫌を取った後、そのまま寝ずに新潟の笹川まで車を飛ばし、僅かに残った気力と体力で夜通し竿を振り1匹も釣れずにガッカリするも、次の週末には同じように竿を振ってはボウズを食らい「ウン、これも精進精進」と思えるのは庄内釣士として生を受けたことに感謝感謝である。

庄内の釣士が一年でもっとも漁の血が沸き踊る秋…。たかが魚といえども殺生に血が騒ぐのは仏の教えに携わる者として如何なものかとも思えるが、知合いのなまくら方丈の「煩惱知らずに得度無し」の教え？をこの時ばかりは都合よくうなずいてしまう我が精進のいい加減さを改めて懺悔してしまう。ただ言い訳ではないが、釣った魚はきれいに食し決して残さぬよう、それは我が子にも徹底させている。さすがに硬い中骨は残してしまうが、私が幼き頃、曾祖母に釣った魚の骨を炭火で炙り、骨せんべいにして与えてもらった記憶がある。当時の我が家の財政事情は分からぬが裕福ではないにせよ残り骨を食さねば暮らせぬほどの食生活ではなかったように思う。

暮らしの中に精進が染み付いている明治生まれの女性が口癖にする「勿体ない、勿体ない」の言葉をそういえば随分使わなくなったなあと、またまた暫く懺悔してはセッセッセと釣り竿を磨く日々が、小雪が舞い散る年の瀬までつづく…。

筆 おがいし



「最近の釣果」(釣師:○○の小池)

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090

発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信治
発行日：平成19年10月10日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>

鶴岡の祭り・イベント

- 10月27日(土) 由良鮭まつり 鶴岡市フィッシングセンター
10月下旬～11月上旬
- 鶴ヶ岡城址菊花展 鶴岡公園 庄内神社参道
- 11月4日(日) 21世紀かぶ祭り in 一霞 一霞地域内特設会場
- 11月上旬 大梵字新そば祭り 手打ち蕎麦処 古の里 大梵字
- 11月11日(日) しゃりん感謝祭 道の駅あつみ「しゃりん」
- 11月11日(日) 庄内あさひ新そばまつり
すまいる(朝日山村開発センター)
- 11月23日(金) 春日神社新嘗祭(黒川能) 黒川・春日神社
- 11月23日(金) 山五十川歌舞伎 山五十川古典芸能伝承館
- 11月23日(金) 山戸能 山五十川古典芸能伝承館

庄内映画村 情報

「SUKIYAKI WESTERN DJANGO」が出品されたベネチア国際映画祭。公式試写の会場は深夜0時からであったにも関わらず満席。途中退席は僅かに3人。エンドロールの間中、拍手が鳴り止まなかったそうです。惜しくも受賞はなりませんでした。世界の実力有る数千本の作品から、23作品のコンペ部門に日本で唯一選出されベネチアのシビアな観客に賞賛を浴びたこの作品は、まさに庄内生まれの世界的映画と言えるでしょう。

ジャンゴ、イオンシネマ三川にて公開中。

▶庄内映画村 <http://www.s-eigamura.jp/>



編集後記

つい先日まで残暑が厳しかったのに最近では朝晩がすっかり肌寒くなって、田んぼも色づい稲刈りも真っ最中ですので、07広報誌も早いもので10月号になりました、残すところあと2回となって参りました。今月から08体制もスタート、早いなあー

今年ご卒業される皆さんもあとわずか!「やっとゆっくりさいる」なんだが寂しっちゃ「よーし、釣さいぐぞ」などなどいろいろな思いではないでしょうか? 今までの思い出を肴に杯を交わすのもいいんでないでしょうか。

hiro